

令和元年第1回宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 企画事業実績報告及び事後評価 議事要旨

日 時：令和元年6月26日(水) 午後6時～8時
場 所：宮城野区役所4階第一会議室
出席者：井上委員長、高畑副委員長、佐藤副委員長、庄司委員、
有坂委員、葛西委員、まちづくり推進課

1 開会

2 挨拶 (井上 範一 委員長)

3 評価方法について (事務局より説明)

4 事業報告及び質疑応答

(1) すずむしの里づくり事業 (実施主体：すずむしの里づくり実行委員会)

<質疑・意見>

委 員 スズムシの活動をしているのは、仙台市内で宮城野区の他にはあるか。

説明者 個人で飼育している方はいるかもしれないが、団体としてというのは聞こえてこない。以前は太白区の西多賀などで交換会をしていたが、市民センターの建て替えなどでできていない。他の区での活動というのは1つの課題である。例えば、自然豊かな泉区でもっとやれる方法があるのではないかな等。

委 員 宮城野区を拠点にしながら、スズムシを他の区にアピールしていき、中学校や高等学校に「すずむし部」という形で部活動として創設することができると、飼育などに詳しくなり、そのことは一生継続していくと思われる。この会を大きくしていくことはもちろんだが、他のところに種をまいていくのも良いかもしれない。

説明者 仙台市の虫としてスズムシを設定したのであれば、行政機関の中に例えば「すずむし課」を置き、一般の方に仙台市の自然への思い入れをアピールできると良いのではないかな。

委 員 若林区では市民センターとともに広瀬川のサケを育てる事業を行っている。若林区のサケと宮城野区のスズムシを交換して育てる事業ができると、より受け入れが広がるのではないかな。機会があればぜひチャレンジしてほしい。

委 員 若い世代への広がりという点も並行して取り組みを継続し、この事業を継続していただきたいと思う。

委 員 この事業をアピールする場合、どの取り組みに取材をすると効果的と考えているか。また、その広報は市政日より等で案内しているのか。

説明者 これまでは、人が多く集まる配布会をマスコミに取材いただくことが多かった。配布会については市政日よりに日程を掲載している。

委 員 HPに「スズムシ」の音を掲載することはできないか。HPを開いたときにスズムシの音を聞けると良いと思う。

(2) みやぎの・まつり (実施主体：みやぎの・まつり実行委員会)

<質疑・意見>

委 員 ステージの発表者は公募しているとのことだが、「みやぎの・まつり」は長年続いており、規模も大きく、この祭りそのものが区の宝であるように思うが、たとえば、実行委員会の推薦枠を設けて、区の宝として実行委員会が選んだものを披露するなどの

- 時間があっても良いかと思う。
- 委員 マネリ化を防ぐための計画やいま進んでいることはあるのか。
- 説明者 毎年実行委員が各自で考え、1つ2つでも新しい企画を行っている。去年はボーイ・ガールスカウトの催し（自分で作ったレーシングカーを走らせてみる等）や花きのせり売りを新たに行ったが、大変好評であった。本来の手作りであるお祭りが喜ばれると思っている。
- 委員 祭りの当日は毎年10月であるが、実行委員会はいつごろから動き始めるのか。マネリ化を防ぐために新しい企画を行うには、なるべく早い時期から検討を始める必要があると思われる。
- 説明者 実行委員会は4月から動き始める。毎年、祭りが終わった直後から、次回の祭りに向けて反省や検討を各自で行っているものと思う。今年からは、障害のある方も楽しめるような、来場者が座って食事を楽しめるような工夫も取り入れている。

(3) 地域はっぴい子育て支援事業（実施主体：みやぎの区民協議会 子育て支援部会）

<質疑・意見>

- 委員 各児童館での参加人数を比較してみて、どのように捉えているか。また、講座の回数はもう少しあった方が良いという認識か。
- 説明者 参加人数等は地域性にもよるが、人数が多いと上手くいかないこともあるため、1グループ5名程度で3グループまでが限度かと思う。今年度の講座は10回の予定だが、もっと増やしていくことも検討している。
- 委員 「ママらいふ手帳」は完成度が高く、非常にすばらしい。これを使ってファシリテートできる人を増やしていって、各地域に活動を広げていくと良いと思う。講座参加者の感想はどのように公開しているか。何らかの形で公開できるようになれば、同じ境遇の人が共感して、参加してみようという人もいるかもしれない。
- 説明者 感想については手帳の中に一部を掲載しているのみで他には公開しておらず、講座メンバーの中での共通理解という形にしている。また、ファシリテーターについては、講座を開催した児童館のスタッフに対して、我々がバックアップするということで、声かけを行っている。
- 委員 宮城野区は転入者が多い地域であるため、知り合いがいないと一人で悩みを抱えてしまうこともあるかと思う。なかなか外に出られないお母さんもあると思われるため、SNS（Facebookなど）でも発信されると、こういう企画があるということを知って安心できたり、参加してみようと思う方も出てくるのではないかと思う。男性にとっても、この講座は心休まるものである。
- 委員 より多くの事業所や施設とコネクションを持ち、「ママらいふ手帳」がより手軽に活用できるようになると良い。
- 説明者 この講座はお母さんを対象にしているが、お父さんや周りの人間にとっても必要なものであると感じている。
- 委員 子育てについて悩んでいる人は多い。SNSでの発信など、講座に参加できない人にこそ、この事業について分かっていただけのもがあると良い。

(4) おらほの公園草刈隊支援事業（担当課：宮城野区公園課）

<質疑・意見>

- 委員 機器の貸し出し等の活動時期は集中するのか。
- 説明者 だいたい4月下旬から11月までの活動になっている。
- 委員 貸し出し機を運んでほしいと依頼されるとなると、負担になってくるのではないか。
- 説明者 トラックの数に限りがあることから、全ての団体に対応することは難しい。金曜に配達をして、月曜に回収をすることとなっている。

委員 空いていれば、複数の機械を借りられるのか。
説明者 空きがあれば可能。だいたい3台ほど貸し出すことが多い。
委員 メンテナンスは業者に依頼しているのか。
説明者 自前ではできないため、業者（メーカー）に依頼している。
委員 草刈りは、知らない人たちが一か所に集まって、一緒に話をする良いツールの一つ。この事業は行政がハード、市民がソフトを担う、協働のやり方としては良いものと思う。ぜひ事業を拡大してほしい。たとえば、市民の有志が機械のメンテナンスや軽トラックでの運搬など、踏み込んだ活動をしていただけるよう、他の課にも働きかけを行っていただくと良いと思われる。
委員 地域は高齢化が進み、やりたくてもできない状況になっており、非常に困っている。
説明者 企業の協力がもう少し得られると、地域の方の負担も軽減されるのではないかと考えている。
委員 広瀬川1万人プロジェクトで、広瀬川のゴミ拾いに参加すると企業にポイントが加算される仕組みになっており、一気にきれいになると聞いたことがある。そういった手法を参考にされると良いのでは。

(5) 地域防災力向上事業（担当課：宮城野区区民生活課）

<質疑・意見>

委員 録音 CD など、講演会の記録を残すようなことはされているか。また、町内会から録音を聞きたいといった要望があった場合に貸し出しなどは行うのか。
説明者 記録のために録音はしてある。録画は著作権等の問題があるためしていない。町内会への貸し出しは現在のところ検討していない。
委員 この講演に参加した方々が、それぞれの地域で講演内容を還元していけると良いと思うが、何か良い方法はないか。
説明者 町内会の方々に参加していただいているため、町内会からそれぞれの地域に伝えていただくことに重きを置いている。講演内容を100%伝えることは難しいが、伝える際に使える資料などがあるとより望ましいと考えている。
委員 参加した方々がアイデアを出し合うワークショップなどの機会があると良いかもしれない。
説明者 講演会に参加した方が自分の役割を考えることが重要と考えている。地域でそのような機会をつくることは課題である。
委員 どういう広報をされたのか。
説明者 町内会や避難所担当課などに案内を送り、申込みをしていただいた。
委員 年1回の講演会ではなく、より身近に、みんなで一緒に意見を出し合える小さな講座を複数回開催することはできないか。
説明者 地域ごとの講座というような形式であると、市民センターの一つの事業としてできると良いのではないかと考える。

(6) 宮文活性化事業（担当課：宮城野区まちづくり推進課）

<質疑・意見>

委員 出店は業者か。出店元はまち課からオファーをしているのか。
説明者 業者である。障害者を多く雇用している移動販売を行っている業者や区内の畑で自然農園を営んでいる業者など。オファーについては、半分はまち課より直接しているが、イベントの企画・運営を行っている飲食店より声かけいただいた。
委員 メニューの中に、市民や区民が入る余地はどれほどあるか。
説明者 業者は宮城野区の方から選んでほしいと依頼している。
委員 区民広場は魅力的なスペースである。宮城野区の名物のものを味わえたりできると良いと

思う。

委員 この事業はどの程度の規模になる見込みか。

説明者 区民広場でできる範囲となる。定例的な開催は難しく、多くても3か月に1回の臨時的な開催になる。参加者は200名程度の見込み。

委員 火気の使用可否など、作れるものに限定はあるのか。

説明者 移動販売車であればとくに限定はないが、参加者層の金銭負担を考慮したものとなる。

委員 この事業のあり方やコンセプトをしっかりと固めた方が良いのではないかと。もっと区民が参加できるような視点や方法があっても良いと思う。類似した取り組みについても情報交換できると良いのでは。

(7) 宮城野盆踊り普及事業

<質疑・意見>

委員 宮城野盆踊り普及事業のメインは講習会なのか。

説明者 町内会の夏祭りで宮城野盆唄を取り入れていただくことが目標であるため、今年度は講習会に力を入れている。

委員 DVDは何部作成したのか。

説明者 まず150部作成し、希望のあった団体に差し上げている。

委員 唄そのものを聞いたことがなかったり、踊りを見たことがない人が多いと思われる。普及を進めていくためには若い人たちを取り込んだ方が良いと思うが、やり方を決めてしまうと普及が難しくなってしまうのでは。例えば、すずめ踊りは振付等が自由に決めることができるため、広まっていった経緯もある。若者に広まれば、SNS等で一気に拡散されるのでは。

委員 「宮城野盆唄」があるのに、じっさいは相馬盆唄ばかり踊られているのは残念。せっかく立派な盆唄があるのだから、ぜひ踊られてほしい。

委員 区役所などでも定期的に流してみると良いのでは。まず耳にする機会を増やした方が良い。

5 閉会